【プロジェクト支援Ａ型】

プロジェクトに関する調書

記載年月日：令和２年１月　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 大学の名称 |  |

１） 概ね４年以内に事業化が有望視されるプロジェクト（７件以内）

１）－１ 特に事業化の可能性の高いプロジェクト（２件以上）

・プロジェクト（１）

**〔プロジェクト（１）の基本情報・推進体制〕**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １．プロジェクトの名称 | | | | 〔例１〕○○○技術を基盤とする△△△の開発プロジェクト  〔例２〕△△△事業を行うベンチャー企業による▲▲▲の事業化 |
| ２．  大学におけるプロジェクトの責任者（研究者） | 所属 | | | 理工学部 |
| 役職 | | | 教授 |
| 氏名 | | |  |
| ３－１．  プロジェクトにおいて事業化を主体的に推進するパートナー企業①の情報  ･名称　･所在地  ･事業内容  ･プロジェクトにおける位置付け  ･プロジェクトを担当する責任者  （設立前の大学発スタートアップの場合は起業責任者） | 名称 | | | 〔例１〕○○○○○株式会社  〔例２〕A社（企業が実名表記を了解していない場合） |
| 所在地 | | | ○○県○○市○○ |
| 事業内容 | | | 〔例１〕自動車用精密加工部品の製造  〔例２〕医療器具の製造・販売 |
| 位置付け | | | 〔例１〕販売を担当　〔例２〕製造を担当  〔例３〕製造・販売を担当 |
| 責任者 | 所属 | |  |
| 役職 | |  |
| 氏名 | |  |
| 〔注1〕企業が確定していないものの、いくつかのルートで候補企業と接触している場合、その状況を付記してください。  〔注2〕事業化を大学発スタートアップで行うことが確定し、その計画を推進中で設立前の段階の場合は、名称に「大学発スタートアップ（設立予定）」と記載してください。なお、大学発スタートアップが単なる構想段階の場合は「設立予定」には該当しないものとします。 | | | |
| ３－２．  プロジェクトにおいて事業化の一部を担当する予定のパートナー企業②の情報  ･名称　･所在地  ･事業内容  ･プロジェクトにおける位置付け  ･プロジェクトを担当する責任者  （無ければ記載不要） | 名称 | | |  |
| 所在地 | | |  |
| 事業内容 | | |  |
| 位置付け | | | 〔例１〕販売を担当　〔例２〕製造を担当  〔例３〕一部の部品の製造を担当 |
| 責任者 | 所属 | |  |
| 役職 | |  |
| 氏名 | |  |
| ３－３．  プロジェクトにおいて事業化の一部を担当する予定のパートナー企業③の情報  ･名称　･所在地  ･事業内容  ･プロジェクトにおける位置付け  ･プロジェクトを担当する責任者  （無ければ記載不要） | 名称 | | |  |
| 所在地 | | |  |
| 事業内容 | | |  |
| 位置付け | | |  |
| 責任者 | | 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |
| ４－１．  プロジェクトにおいて共同で研究開発を行う他大学・研究機関等①の名称、担当研究者  （無ければ記載不要） | 名称 | | | ○○大学 |
| 研究者 | | 所属 | 工学部 |
| 役職 | 准教授 |
| 氏名 |  |
| ４－２．  プロジェクトにおいて共同で研究開発を行う他大学・研究機関等②の名称、担当研究者  （無ければ記載不要） | 名称 | | |  |
| 研究者 | | 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |
| ４－３．  プロジェクトにおいて共同で研究開発を行う他大学・研究機関等③の名称、担当研究者  （無ければ記載不要） | 名称 | | |  |
| 研究者 | | 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |

**〔プロジェクト（１）のベースとなった研究開発の情報〕**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ５．  これまでの研究開発の経緯及び成果の概要 | 〔例示〕  20XX年○○月　研究開発開始  20XX年○○月　○○○用機能性添加剤に使う□□□□を△△からの抽出に成功  20XX年○○月　△から抽出した□□□□の評価により、新規の機能性を発見  20XX年○○月　○○○を製造・販売するＺ社に△△より抽出した□□□□□のサンプル評価を依頼した結果、新規の機能性に高評価  20XX年○○月　新たな研究開発資金を獲得  20XX年○○月　□□□□の低コストかつ高効率な抽出技術を開発中  〔注〕〔例示〕と同じ記載要領で記載してください。 | | | | | |
| ６．  知的財産の出願・権利化の状況（外国出願も含む。） | 〔例示〕  ・特許第XXXXX号（20XX年XX月XX日出願）「発明の名称１」出願人／権利者  ・特願2016-XXXXX（2016年XX月XX日出願）  　⇒特願2017-XXXXX（2017年XX月XX日国内優先権主張出願）「発明の名称２」出願人／権利者  ・特願2017-XXXXX（2017年XX月XX日出願）  　⇒PCT/JP20XX/XXXXX（20XX年XX月XX日出願）「発明の名称３」出願人／権利者  ・特願2018-XXXXX（2018年XX月XX日出願）「発明の名称４」出願人／権利者  ・意匠登録XXXXX号（20XX年XX月XX日登録）「意匠に係る物品１」出願人／意匠権者  〔注〕〔例示〕と同じ記載要領で記載してください。  　　特許登録後は特許番号、登録前は出願番号で記載してください（公開番号では記載しない。）。 | | | | | |
| ７．  研究開発資金の提供を受けた研究開発事業の名称、研究開発費の種別、研究開発費の金額 | 国・自治体等の公的機関による研究開発事業による研究開発資金 | | | | | |
|  | (1) | 名称 | ○○○の機能性の解明 | | |
| 種別 | 科学研究費補助金 | | |
| 金額 | 25百万円 | 期間 | H28～H30 |
| (2) | 名称 | ○○○の開発と性能評価 | | |
| 種別 | NEDO福祉用具実用化開発推進事業 | | |
| 金額 | 30百万円 | 期間 | H27～H30 |
| (3) | 名称 | ○○○技術の開発 | | |
| 種別 | JST A-Stepシーズ顕在タイプ | | |
| 金額 | 10百万円 | 期間 | H27～H29 |
| (4) | 名称 |  | | |
| 種別 |  | | |
| 金額 |  | 期間 |  |
| 民間財団等による研究開発補助事業による研究開発資金 | | | | | |
|  | (1) | 名称 | ○○の新機能とその応用に関する研究 | | |
| 種別 | ○○○財団 | | |
| 金額 | 6百万円 | 期間 | H28～H29 |
| (2) | 名称 |  | | |
| 種別 |  | | |
| 金額 |  | 期間 |  |
| 企業等からの受託研究、企業等との共同研究による研究開発資金 | | | | | |
|  | (1) | 名称 | ○○○○の高効率抽出技術の開発 | | |
| 種別 | ○○社との共同研究 | | |
| 金額 | 5百万円 | 期間 | H28～H30 |
| (2) | 名称 |  | | |
| 種別 |  | | |
| 金額 |  | 期間 |  |
| 申請中又は契約交渉中の研究開発費等  １）  ２）  申請等を予定している研究開発費等  １）  ２）  〔注〕記載欄が足りない場合は、記載欄を増やすか、この欄に分かるように記載してください。 | | | | | |

**〔プロジェクト（１）に関する詳細情報〕**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ８．  プロジェクトの概要 | 背景 | プロジェクトの背景となっている従来製品/サービスの問題点・課題等を記載してください。 |
| 〔例示〕  ・□□□は、○○に対して有用であるが、抽出の効率が悪いため高価であり、一般的にはあまり使われていなかった。 |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。） | 従来製品/サービスの問題点・課題を解決するための研究開発のポイントを記載してください。 |
| 〔例示〕  ・□□□□□の低コストかつ高効率な抽出技術（ラボレベル）をZZZZ年までに開発  ・抽出した□□□□□をＢ社で評価し、○○に関する有用性を確認 |
| 事業化の考え方 | 大学とパートナー企業との関係、事業化構想、構想を実現するシナリオ、最終目標（パートナー企業が何をいつ頃に販売開始する予定なのか等）を記載してください。 |
| 〔例示１〕  ・本プロジェクトに参画するA社により高効率抽出装置（量産レベル）をYYYY年までに開発  ・Ａ社から、△△から抽出した□□□の製造・販売を開始（XXXX年末を目標）  〔例示２〕  ・スタートアップを設立し、サブライセンス権付きの特許ライセンス契約を締結  ・スタートアップが（大学の支援を受けつつ）地域企業Ａ社に発注して高効率抽出装置（量産レベル）を開発  ・スタートアップから地域企業A社に製造委託し、Ｂ社、Ｃ社等に□□□を販売開始（XXXX年初を目標） |
| ９．  ビジネスモデルの視点 | 想定している顧客 | 事業化が成功した際に想定している顧客（層）を具体的かつ限定的に記載してください。  直接の顧客（1次顧客）の先に最終顧客がいる場合には、その両方を分かるように記載してください。 |
| 〔例示〕  ・繊維を傷めずに襟・袖の汚れを落としたい主婦、一人暮らしの男性 |
| 顧客に提供する価値 | 顧客に提供する、従来には無かった新たな価値(優位性)を記載してください。 |
| 〔例示〕  ・XXを助剤として使用することにより予め汚れを浮き上がらせて洗い流すことが可能 |
| 顧客に価値を提供することによる収入 | 顧客に価値を提供することにより得られる収入のアイテムを記載してください。  可能であればそれぞれのアイテムの収入予想金額も記載してください。 |
| 〔例示〕  ・洗剤の製品代 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 10．  事業化のための残課題 | 〔例示１〕  ・試作第1号では、ＹＹの機能は十分であるが、ＺＺという悪影響がある。  ・これを解決するためには、○○のサイズを△△から□□まで小型化する必要がある。  ・この課題を解決するために、Ａ社と共同研究を始めたところである。  〔例示２〕  ・動作確認モデルでは、ＹＹの目標性能を達成することが分かっているが、製造を担当するＢ社では構成部品の○○を量産することができない。  ・そのため、○○を量産できる企業をＢ社とともに探索中である。  ・またＢ社でも、自社で量産するための技術開発を行っているところである。 | |
| 11．  事業化が社会や経済に与える影響及び波及効果 | 〔例示〕  ・〇〇に関する技術は、地元企業との産学連携により、事業化を進め得るところまでに至った。  ・地域の大学と地元と企業との連携に、地元行政官庁と地元住民の関心が高くなっている。  ・地方創生の観点で重要な役割を果たしている。  ・他の地元企業の参画も話題になり、地域の○○産業の分野への波及効果が大きい。具体的には・・・。 |

**〔プロジェクト（１）に関するその他、特記事項等〕**

|  |  |
| --- | --- |
| 13．その他、特記事項等 |  |

〔注１〕審査の段階で、調書責任者に対して、調書の内容についてご質問をさせていただくことがあります。

〔注２〕説明図、報道記事、その他の参考となる資料等を３枚まで添付することができます。

〔注３〕ピンク色の文字は、例示又は注意書きとして記載しています。

ピンク色の文字のうち、申請に必要な情報については必ず黒色に変更してください。

ピンク色の文字のうち、申請に不要な情報は削除してください。

・プロジェクト（２）

**〔プロジェクト（２）の基本情報・推進体制〕**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| １．プロジェクトの名称 | | | | 〔例１〕○○○技術を基盤とする△△△の開発プロジェクト  〔例２〕△△△事業を行うベンチャー企業による▲▲▲の事業化 |
| ２．  大学におけるプロジェクトの責任者（研究者） | 所属 | | | 理工学部 |
| 役職 | | | 教授 |
| 氏名 | | |  |
| ３－１．  プロジェクトにおいて事業化を主体的に推進するパートナー企業①の情報  ･名称　･所在地  ･事業内容  ･プロジェクトにおける位置付け  ･プロジェクトを担当する責任者  （設立前の大学発スタートアップの場合は起業責任者） | 名称 | | | 〔例１〕○○○○○株式会社  〔例２〕A社（企業が実名表記を了解していない場合） |
| 所在地 | | | ○○県○○市○○ |
| 事業内容 | | | 〔例１〕自動車用精密加工部品の製造  〔例２〕医療器具の製造・販売 |
| 位置付け | | | 〔例１〕販売を担当　〔例２〕製造を担当  〔例３〕製造・販売を担当 |
| 責任者 | 所属 | |  |
| 役職 | |  |
| 氏名 | |  |
| 〔注1〕企業が確定していないものの、いくつかのルートで候補企業と接触している場合、その状況を付記してください。  〔注2〕事業化を大学発スタートアップで行うことが確定し、その計画を推進中で設立前の段階の場合は、名称に「大学発スタートアップ（設立予定）」と記載してください。なお、大学発スタートアップが単なる構想段階の場合は「設立予定」には該当しないものとします。 | | | |
| ３－２．  プロジェクトにおいて事業化の一部を担当する予定のパートナー企業②の情報  ･名称　･所在地  ･事業内容  ･プロジェクトにおける位置付け  ･プロジェクトを担当する責任者  （無ければ記載不要） | 名称 | | |  |
| 所在地 | | |  |
| 事業内容 | | |  |
| 位置付け | | | 〔例１〕販売を担当　〔例２〕製造を担当  〔例３〕一部の部品の製造を担当 |
| 責任者 | 所属 | |  |
| 役職 | |  |
| 氏名 | |  |
| ３－３．  プロジェクトにおいて事業化の一部を担当する予定のパートナー企業③の情報  ･名称　･所在地  ･事業内容  ･プロジェクトにおける位置付け  ･プロジェクトを担当する責任者  （無ければ記載不要） | 名称 | | |  |
| 所在地 | | |  |
| 事業内容 | | |  |
| 位置付け | | |  |
| 責任者 | | 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |
| ４－１．  プロジェクトにおいて共同で研究開発を行う他大学・研究機関等①の名称、担当研究者  （無ければ記載不要） | 名称 | | | ○○大学 |
| 研究者 | | 所属 | 工学部 |
| 役職 | 准教授 |
| 氏名 |  |
| ４－２．  プロジェクトにおいて共同で研究開発を行う他大学・研究機関等②の名称、担当研究者  （無ければ記載不要） | 名称 | | |  |
| 研究者 | | 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |
| ４－３．  プロジェクトにおいて共同で研究開発を行う他大学・研究機関等③の名称、担当研究者  （無ければ記載不要） | 名称 | | |  |
| 研究者 | | 所属 |  |
| 役職 |  |
| 氏名 |  |

**〔プロジェクト（２）のベースとなった研究開発の情報〕**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ５．  これまでの研究開発の経緯及び成果の概要 | 〔例示〕  20XX年○○月　研究開発開始  20XX年○○月　○○○用機能性添加剤に使う□□□□を△△からの抽出に成功  20XX年○○月　△から抽出した□□□□の評価により、新規の機能性を発見  20XX年○○月　○○○を製造・販売するＺ社に△△より抽出した□□□□□のサンプル評価を依頼した結果、新規の機能性に高評価  20XX年○○月　新たな研究開発資金を獲得  20XX年○○月　□□□□の低コストかつ高効率な抽出技術を開発中  〔注〕〔例示〕と同じ記載要領で記載してください。 | | | | | |
| ６．  知的財産の出願・権利化の状況（外国出願も含む。） | 〔例示〕  ・特許第XXXXX号（20XX年XX月XX日出願）「発明の名称１」出願人／権利者  ・特願2016-XXXXX（2016年XX月XX日出願）  　⇒特願2017-XXXXX（2017年XX月XX日国内優先権主張出願）「発明の名称２」出願人／権利者  ・特願2017-XXXXX（2017年XX月XX日出願）  　⇒PCT/JP20XX/XXXXX（20XX年XX月XX日出願）「発明の名称３」出願人／権利者  ・特願2018-XXXXX（2018年XX月XX日出願）「発明の名称４」出願人／権利者  ・意匠登録XXXXX号（20XX年XX月XX日登録）「意匠に係る物品１」出願人／意匠権者  〔注〕〔例示〕と同じ記載要領で記載してください。  　　特許登録後は特許番号、登録前は出願番号で記載してください（公開番号では記載しない。）。 | | | | | |
| ７．  研究開発資金の提供を受けた研究開発事業の名称、研究開発費の種別、研究開発費の金額 | 国・自治体等の公的機関による研究開発事業による研究開発資金 | | | | | |
|  | (1) | 名称 | ○○○の機能性の解明 | | |
| 種別 | 科学研究費補助金 | | |
| 金額 | 25百万円 | 期間 | H28～H30 |
| (2) | 名称 | ○○○の開発と性能評価 | | |
| 種別 | NEDO福祉用具実用化開発推進事業 | | |
| 金額 | 30百万円 | 期間 | H27～H30 |
| (3) | 名称 | ○○○技術の開発 | | |
| 種別 | JST A-Stepシーズ顕在タイプ | | |
| 金額 | 10百万円 | 期間 | H27～H29 |
| (4) | 名称 |  | | |
| 種別 |  | | |
| 金額 |  | 期間 |  |
| 民間財団等による研究開発補助事業による研究開発資金 | | | | | |
|  | (1) | 名称 | ○○の新機能とその応用に関する研究 | | |
| 種別 | ○○○財団 | | |
| 金額 | 6百万円 | 期間 | H28～H29 |
| (2) | 名称 |  | | |
| 種別 |  | | |
| 金額 |  | 期間 |  |
| 企業等からの受託研究、企業等との共同研究による研究開発資金 | | | | | |
|  | (1) | 名称 | ○○○○の高効率抽出技術の開発 | | |
| 種別 | ○○社との共同研究 | | |
| 金額 | 5百万円 | 期間 | H28～H30 |
| (2) | 名称 |  | | |
| 種別 |  | | |
| 金額 |  | 期間 |  |
| 申請中又は契約交渉中の研究開発費等  １）  ２）  申請等を予定している研究開発費等  １）  ２）  〔注〕記載欄が足りない場合は、記載欄を増やすか、この欄に分かるように記載してください。 | | | | | |

**〔プロジェクト（２）に関する詳細情報〕**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ８．  プロジェクトの概要 | 背景 | プロジェクトの背景となっている従来製品/サービスの問題点・課題等を記載してください。 |
| 〔例示〕  ・□□□は、○○に対して有用であるが、抽出の効率が悪いため高価であり、一般的にはあまり使われていなかった。 |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。） | 従来製品/サービスの問題点・課題を解決するための研究開発のポイントを記載してください。 |
| 〔例示〕  ・□□□□□の低コストかつ高効率な抽出技術（ラボレベル）をZZZZ年までに開発  ・抽出した□□□□□をＢ社で評価し、○○に関する有用性を確認 |
| 事業化の考え方 | 大学とパートナー企業との関係、事業化構想、構想を実現するシナリオ、最終目標（パートナー企業が何をいつ頃に販売開始する予定なのか等）を記載してください。 |
| 〔例示１〕  ・本プロジェクトに参画するA社により高効率抽出装置（量産レベル）をYYYY年までに開発  ・Ａ社から、△△から抽出した□□□の製造・販売を開始（XXXX年末を目標）  〔例示２〕  ・スタートアップを設立し、サブライセンス権付きの特許ライセンス契約を締結  ・スタートアップが（大学の支援を受けつつ）地域企業Ａ社に発注して高効率抽出装置（量産レベル）を開発  ・スタートアップから地域企業A社に製造委託し、Ｂ社、Ｃ社等に□□□を販売開始（XXXX年初を目標） |
| ９．  ビジネスモデルの視点 | 想定している顧客 | 事業化が成功した際に想定している顧客（層）を具体的かつ限定的に記載してください。  直接の顧客（1次顧客）の先に最終顧客がいる場合には、その両方を分かるように記載してください。 |
| 〔例示〕  ・繊維を傷めずに襟・袖の汚れを落としたい主婦、一人暮らしの男性 |
| 顧客に提供する価値 | 顧客に提供する、従来には無かった新たな価値(優位性)を記載してください。 |
| 〔例示〕  ・XXを助剤として使用することにより予め汚れを浮き上がらせて洗い流すことが可能 |
| 顧客に価値を提供することによる収入 | 顧客に価値を提供することにより得られる収入のアイテムを記載してください。  可能であればそれぞれのアイテムの収入予想金額も記載してください。 |
| 〔例示〕  ・洗剤の製品代 |

|  |  |
| --- | --- |
| 10．  事業化のための残課題 | 〔例示１〕  ・試作第1号では、ＹＹの機能は十分であるが、ＺＺという悪影響がある。  ・これを解決するためには、○○のサイズを△△から□□まで小型化する必要がある。  ・この課題を解決するために、Ａ社と共同研究を始めたところである。  〔例示２〕  ・動作確認モデルでは、ＹＹの目標性能を達成することが分かっているが、製造を担当するＢ社では構成部品の○○を量産することができない。  ・そのため、○○を量産できる企業をＢ社とともに探索中である。  ・またＢ社でも、自社で量産するための技術開発を行っているところである。 |
| 11．  事業化が社会や経済に与える影響及び波及効果 | 〔例示〕  ・〇〇に関する技術は、地元企業との産学連携により、事業化を進め得るところまでに至った。  ・地域の大学と地元と企業との連携に、地元行政官庁と地元住民の関心が高くなっている。  ・地方創生の観点で重要な役割を果たしている。  ・他の地元企業の参画も話題になり、地域の○○産業の分野への波及効果が大きい。具体的には・・・。 |

**〔プロジェクト（２）に関するその他、特記事項等〕**

|  |  |
| --- | --- |
| 13．その他、特記事項等 |  |

〔注１〕審査の段階で、調書責任者に対して、調書の内容についてご質問をさせていただくことがあります。

〔注２〕説明図、報道記事、その他の参考となる資料等を３枚まで添付することができます。

〔注３〕ピンク色の文字は、例示又は注意書きとして記載しています。

ピンク色の文字のうち、申請に必要な情報については必ず黒色に変更してください。

ピンク色の文字のうち、申請に不要な情報は削除してください。

〔注４〕プロジェクト（３）、（４）･･･を詳細様式に記載する場合には、プロジェクト（２）の様式をコピーして使用してください。

１）－２ 概ね４年以内に事業化が有望視されるその他のプロジェクト

**〔プロジェクトの情報〕**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| プロジェクト（３） | 名称 | |  |
| 責任者 | | 理工学部　教授　□□□□ |
| パートナー企業 | | XXXX（㈱）　東京都目黒区･･･ |
| 知的財産の状況 | | 〔例示〕特許第XXXXXXX号、他YY件 |
| 概要 | 背景 | 〔例示〕  ・□□□は、○○に対して有用であるが、抽出の効率が悪いため高価であり、一般的にはあまり使われていなかった。 |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) | 〔例示〕  ・□□□□□の低コストかつ高効率な抽出技術（ラボレベル）をZZZZ年までに開発  ・抽出した□□□□□をＢ社で評価し、○○に関する有用性を確認 |
| 事業化の考え方 | 〔例示〕  ・本プロジェクトに参画するA社により高効率抽出装置（量産レベル）をYYYY年までに開発  ・Ａ社から、△△から抽出した□□□の製造・販売を開始(XXXX年末目標) |
| プロジェクト（４） | 名称 | |  |
| 責任者 | |  |
| パートナー企業 | |  |
| 知的財産の状況 | |  |
| 概要 | 背景 |  |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) |  |
| 事業化の考え方 |  |
| プロジェクト（５） | 名称 | |  |
| 責任者 | |  |
| パートナー企業 | |  |
| 知的財産の状況 | |  |
| 概要 | 背景 |  |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) |  |
| 事業化の考え方 |  |
| プロジェクト（６） | 名称 | |  |
| 責任者 | |  |
| パートナー企業 | |  |
| 知的財産の状況 | |  |
| 概要 | 背景 |  |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) |  |
| 事業化の考え方 |  |
| プロジェクト（７） | 名称 | |  |
| 責任者 | |  |
| パートナー企業 | |  |
| 知的財産の状況 | |  |
| 概要 | 背景 |  |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) |  |
| 事業化の考え方 |  |

〔注１〕プロジェクト（７）まで全て記載する必要はありません。

〔注２〕ピンク色の文字は、例示又は注意書きとして記載しています。

ピンク色の文字のうち、申請に必要な情報については必ず黒色に変更してください。

ピンク色の文字のうち、申請に不要な情報は削除してください。

２） 概ね７年以内の事業化が有望視されるプロジェクト（５件以内）

**〔プロジェクトの情報〕**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| プロジェクト（８） | 名称 | |  |
| 責任者 | | 理工学部　教授　□□□□ |
| パートナー企業 | | XXXX（㈱）　東京都目黒区･･･ |
| 知的財産の状況 | | 〔例示〕特許第XXXXXXX号、他YY件 |
| 概要 | 背景 | 〔例示〕  ・□□□は、○○に対して有用であるが、抽出の効率が悪いため高価であり、一般的にはあまり使われていなかった。 |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) | 〔例示〕  ・□□□□□の低コストかつ高効率な抽出技術（ラボレベル）をZZZZ年までに開発  ・抽出した□□□□□をＢ社で評価し、○○に関する有用性を確認 |
| 事業化の考え方 | 〔例示１〕  ・本プロジェクトに参画するA社により高効率抽出装置（量産レベル）をYYYY年までに開発  ・Ａ社から、△△から抽出した□□□の製造・販売を開始（XXXX年末を目標） |
| プロジェクト（９） | 名称 | |  |
| 責任者 | |  |
| パートナー企業 | |  |
| 知的財産の状況 | |  |
| 概要 | 背景 |  |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) |  |
| 事業化の考え方 |  |
| プロジェクト（10） | 名称 | |  |
| 責任者 | |  |
| パートナー企業 | |  |
| 知的財産の状況 | |  |
| 概要 | 背景 |  |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) |  |
| 事業化の考え方 |  |
| プロジェクト（11） | 名称 | |  |
| 責任者 | |  |
| パートナー企業 | |  |
| 知的財産の状況 | |  |
| 概要 | 背景 |  |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) |  |
| 事業化の考え方 |  |
| プロジェクト（12） | 名称 | |  |
| 責任者 | |  |
| パートナー企業 | |  |
| 知的財産の状況 | |  |
| 概要 | 背景 |  |
| 研究開発のポイント  (進行中を含む。) |  |
| 事業化の考え方 |  |

〔注１〕５件全てを記載する必要はありません。

〔注２〕ピンク色の文字は、例示又は注意書きとして記載しています。

ピンク色の文字のうち、申請に必要な情報については必ず黒色に変更してください。

ピンク色の文字のうち、申請に不要な情報は削除してください。